



キ3園 第36号

令和8年7月

キッドワールドサード保育園

梅雨の季節となり、雨の日が続くようになりました。気温や湿度の変化が大きく、体調を崩しやすい時期です。園では子どもたちの健康観察を丁寧に行いながら、快適に過ごせるように努めています。ご家庭でも十分な睡眠や朝食を心がけ、体調管理にご協力をお願いします



6月は手足口病のお友達がいました。おや？と思ったときは病院へいかれてください。

集団生活なのでご協力をお願いします。湿疹、水疱瘡、虫刺されの場合もあります。気をつけましょう

手足口病に注意しましょう

症状

発熱することもある



夏に流行することが多い病気。感染力が強いので何度もかかる可能性があります。

治った後も、2～4週間くらいは便にウイルスがいます。おむつ替えの後は、しっかり手を洗ってください。

てのひら、足の裏、口の中、おしりに、赤い発しんがある

下痢をすることもある

口の中の水ぼうが痛むときは、プリンや野菜スープなど、のどごしのよい物を。

症状により、園をお休みしましょう。熱が下がって1日以上経過し、いつもどおり食事ができれば登園可能です。

手足口病にご注意を

てのひら、足の裏、口の中に小さな（米粒大の）発しんや水ぼうがでできる手足口病。実は、おしりや皮膚のやわらかい所にもできたり、痛みやかゆみを伴い発熱したりすることもある。また、口内炎が悪化して食欲が落ちたり、まれに髄膜炎などの合併症を起こしたりすることがあるので、注意が必要です。



登園は、熱が下がり、1日以上たって普段の食事ができるようになってから。

下痢や嘔吐、腹痛を訴えているときは病院受診をお願いします。

小さい子の食中毒にご注意を

じめじめした梅雨から夏にかけては、食中毒が発生しやすい時期。食中毒の原因になる細菌が活動しやすい、湿度と気温がそろっているからです。

食中毒になると、下痢、おう吐、腹痛などの症状を起こしますが、0、1、2歳のころは、けいれんを起こしたり、意識がなくなったりすることもある！重症化しやすいので、調理するときは必ず手を洗い、新鮮な食材を使いましょう。

また、冬場にはノロウイルスなどのウイルス性の食中毒が増加します。



園ではこまめに水分補給をしています。甘い物ではなく麦茶等にしましょう。

赤ちゃんの水分補給 どうしたらよいの？

大人に比べて子どもは汗かき。特に生後7か月～2歳のころは新陳代謝がよく、おしっこ回数も多いので、たくさんの水分が必要です。のどが渴いていても言葉で伝えられないこともあるので、大人が気を配ってあげましょう。

※0～6か月の乳児には、母乳・ミルク以外飲ませる必要はありません。

水分補給のコツ

- 水分は、湯冷まし、麦茶、番茶などがお勧め
- お散歩の前後や、あそびの途中でも忘れずに様子を見ながら、ひんぱんに補給
- 嫌がるときは、無理に飲ませなくて大丈夫。時間を置いてあげましょう

